

平成20年度第4回（仮称）広域リサイクルセンター基本計画策定委員会会議録

日 時 平成20年10月3日（金） 午前10時 ～ 正午
場 所 寒川町クリーンセンター 2階・会議室

出席委員 14名

・市川元久・小嶋政幸・亀山直平・井上隆男・佐藤忠・杉山六郎・小嶋龍巳
・磯川彰・吉田和正・後藤勤・前嶋笑子・海老根照子・関口光男

欠席委員

・佐藤委員

町出席者

・須藤部長・関野課長・石塚主幹・関本副主幹・徳江主査

司会進行は石塚主幹

1. 開 会 ……市川委員長より開会

2. 議 題

(1) 第3回基本計画策定委員会の会議録について

発言内容はできる限りそのまま記載していますが、要約している部分もありますので、ニュアンスが違うなどあれば事務局までお願いします。

(2) (仮称) 広域リサイクルセンター基本計画の処理システム等について

(以下「リサイクルセンター」と表記する。)

(議 長) 事務局より説明をお願いします。

(事務局) 資料について説明（P7まで）（日産技術コンサルタント）

(議 長) 事務局より説明がありましたので、質疑を受けたいと思います。

質 疑

(委 員) 受入方式や処理方法についてメリット、デメリットが明確になっていないので、もう少し判断の根拠を示してほしい。

(事務局) 資源の受け入れについては、基本的には受入ヤード方式をとりたいと考えている。なるべく維持管理のしやすい施設というのが前提にあります。

(委 員) その話が出てしまうと委員としては検討ができない。受入方法によってどのようなメリットがあるのか説明してほしい。

(事務局)

直接投入方式 効率的や運営的に一番優れた方式です。ただし、これは対象物がきちんと分別されていることが前提条件になります。寒川町ではコンテナ・ネット回収をしているので、直接投入ではなく一度ヤードに入れることが必要になります。

ヤード方式 一般的に採用されている方式です。施設としては特別なものではなく維持管理が容易なためです。処理量の多い施設には不向きで、ヤードが大きさによって施設全体が大きくなるデメリットがあります。

ピット方式 処理量の多い施設で採用されている。地下の施設のため対象物の貯留ができ、施設をコンパクトにできます。
しかし、処理のためクレーンが必要になり、特別な技術者と定期的なメンテナンスが必要です。ピットに入れると異物の分別が難しくなります。

ダンピングボックス方式

主に焼却施設で採用されていて、搬入時に異物の確認ができ、投入時の安全対策に優れた方式です。
地下に大きなスペースが必要で、建設費はかかり定期的なメンテナンスが必要です。

以上の経過から受入ヤード方式を基本に考えています。選別方法は次のとおりとなります。

かん類 資料に提示した磁力選別機を使う方式を多くの施設で採用しています。今回は選別精度の関連からアルミ選別機についても導入を考えていきます。

ペットボトル・プラスチック容器包装

これらの品目については機械選別が難しく、どこも手選別方式を採用しています。この計画でも手選別方式を予定しています。

びん類

選別方法として2種類提示しています。1つは機械による自動選別、もう1つは従来からある手選別の方式です。
機械選別は人手をかけないため、効率的で安全に選別できるメリットがある反面、手選別より精度が落ちることと定期的なメンテナンスが必要です。
手選別は人手をかけるため精度が良く、施設の簡易で済むため維持管理面でも安価です。ただし、人件費がかかるため長期的には経費は増える傾向にあります。

(委員) 自動選別は魅力があるもので、自動選別と手選別の選定については詳細に検討する必要がある。

(事務局) 自動選別と手選別の比較検討資料を提示します。

(委員) 施設の規模及び搬入車両がどれくらいになるか教えてほしい。

(事務局) 別添資料の(仮称)広域リサイクルセンター基本計画書(案)の資料の中のP17に記載してあります。

(委員) 搬出ヤードの考え方はどう考えているか。まとめてか品目ごとになるか。

(事務局) 選別され処理された成型品は搬出ヤードで品目ごとに整理して貯留します。搬出は10t車で1日に1回程度を想定しています。

(委員) アルミ選別機の採用するにあたっての検討事項は何か。

(事務局) 磁力選別機でスチールかんを分けた後にアルミと残渣を分別する。選別精度を上げ、資源化しやすくするもの。アルミ選別機を導入した場合のコストと人件費について検討する。

(委員) 残渣は貯留ホッパーとあるが、すべての種類についてそのようになるのか。
(事務局) プラスチック容器包装類は袋収集を行っていて、袋が飛ぶ可能性があるの
で、貯留ホッパーで検討したいと考えている。

(議長) 引き続き、説明をお願いします。
(事務局) 資料について説明（P 14まで）（日産技術コンサルタント）
(議長) 事務局より説明がありましたので、質疑を受けたいと思います。

(委員) 粉塵対策でバグフィルターを記載している理由を教えてください。
(事務局) ダイオキシンの発生はないが、作業による粉塵の発生はあるので施設内
で処理するためです。

(委員) 防災安全対策の中でこの施設の特有のものがあれば教えてください。
(事務局) 他市の計画を見てもここまで細かく載せていない。作業中及びメンテナ
ンス等の対策を載せている。今後施設見学も行う施設なので車輛や歩行
者の動線計画は優先したいと考えている。

(委員) バグフィルター方式とサイクロン+バグフィルター併用方式を記載して
意図は何か。
(事務局) 現在、これらの施設で使われている方法として2種類提起している。ど
ちらの方式を採用するか事務レベルでも詰め切れていない。

(委員) 悪臭対策として活性炭を使う方法が提案されているが、ランニングコス
トも含めて検討してほしい。また、雨水や太陽光発電等についての検討
はどうなっているか。
(事務局) 臭気の内容や状況を含め検討します。雨水や太陽光発電を利用する予定
で検討を指示しています。今後提案する施設配置計画の中でお示しした
いと考えています。

(3) (仮称) 広域リサイクルセンター基本計画書(案) (第1・2章) について

(議長) 事務局より説明をお願いします。
(事務局) 今まで検討をいただいた基本計画について、第2章までを中間としてま
とめました。先ほど説明しましたP 17は以前は数値がはいっておらず
変更した部分です。さらに計画の裏付けとなるデータ類については別紙
に「資料編」としてまとめたので、後ほど見ていただきご意見をお
願います。

(4) その他について

次回の会議日程について11月7日（金）に予定する。

3. 閉会

(副委員長) 閉会の言葉を述べて閉会となる。